

令和3年度 第2回大垣市男女共同参画推進審議会 議事録

令和3年11月29日（月）午後1時30分から、令和3年度第2回大垣市男女共同参画推進審議会を大垣市スイトピアセンター学習館4階男女共同参画活動室において開催した。

その内容は次のとおりである。

1 議 題

- (1) 大垣市^{ひと}男と女^{ひと}のかがやきまちづくり表彰被表彰者の選考について
- (2) 大垣市男女共同参画に関する市民意識調査（速報）及び大垣市女性活躍等に関する企業実態調査について

2 委員の出欠

- (1) 出席委員（12人）

会 長	山 田 武 司	副会長	茂 木 七 香
委 員	水 谷 あい子	委 員	大 西 豊 康
委 員	大 橋 奈麻輝	委 員	小 池 和 子
委 員	笹 木 博	委 員	高 見 美智子
委 員	堀 和 英	委 員	松 岡 敦 子
委 員	後 藤 千 春	委 員	原 丈 衛

- (2) 欠席委員（2人）

委 員	水 端 盛 仁	委 員	井 原 拓
-----	---------	-----	-------

3 事務局出席者（4人）

市民活動部長	杉 田 昭 子
男女共同参画推進室室長	三 浦 陽 子
男女共同参画推進室主幹	伊 藤 元 之
男女共同参画推進室主査	川 崎 実 紀

(開会 午後1時30分)

事務局	開会にあたって ※ 議題(1)は「大垣市情報公開条例」第6条第5号に基づく「意思形成過程における情報」に該当するため非公開、議題(2)以降は公開の報告(傍聴者なし)
事務局	〈開会のあいさつ(市民活動部長)〉(略)
事務局	※ 欠席者(2人)の報告 ※ 出席委員が過半数に達したことによる会議成立の報告 ※ 担当職員の紹介 ※ 会議資料の確認 ※ 資料No.1と各事業者からの応募用紙(一式)については、会議終了後に回収する
会長	※ 本日の議事録署名者は、大橋委員と水谷委員にお願いする。 ・ 議題(1)「大垣市男と女のかがやきまちづくり表彰被表彰者の選考について」を、事務局より説明をお願いする。
事務局	・ 資料No.1に基づき、「大垣市男と女のかがやきまちづくり表彰被表彰者の選考について」を説明(略)
会長	※ 質疑応答をお願いする。 ・ 大垣ケーブルテレビ様は、計画・実績ともに大変良く出来ていると感じる。在宅勤務推進のための様々な手当も支給されており、平均週一回の在宅勤務を現在も続けられる体制が整っている。
委員	・ 男性の育休取得については、何名取得したというように数字に表れやすい。 大垣ケーブルテレビ様は2か月取得しており、その場しのぎでは取れない期間だと思う。計画を立て、職場の中でサポート体制を整えた上でしか取得できないと思うが、3名の実績があることから非常に機能していると感じた。 また、全社員に周知しており、体験談を全員で共有して、これからも取りやすい雰囲気と体制が整っていくと思った。 ユニテック様も、1週間ではあるが男性が取得した実績があ

るということで、今後もさらに続く良い取組だと思った。

会長

- ・ 男性の育休取得率は100%で、3名全員が1～2か月取得できるのはすごいことであるし、その分をカバー出来る体制を整えているのは良いことだと思う。
- ・ 良い点をどんどん出していただき、他の企業にも参考にしていただけるような形になれば良いと思うので、気が付いた点があれば発言していただきたい。

委員

- ・ 事業者が自薦しているため、経営者の観点からの書き方にならざるを得ないと思う。
例えば、大垣ケーブルテレビ様の推薦者の意見として、「行動計画に明記したことで、男性の家庭生活に対する意識が変わりました。」とある。
経営陣はこのように思われているかもしれないが、是非、男性社員自身から、やってみてこういう声があった、こういう嬉しさがあったというところも加えてもらえると、より生々しい事業者自らの推薦書になるのではないかと思う。
選定の是非から話がずれてしまう意見であるが、感想として述べさせていただいた。

会長

- ・ 確かに、応募者の視点から見て、良いように書くということはあるかと思う。

事務局

- ・ 資料の中から省いているが、育休を取得された方の感想が社内報に掲載されており、その資料を提出いただいているので、読み上げさせていただく。

〈 社内報を読み上げ 〉

委員

- ・ 在宅勤務に関して、ユニテック様で「テレワークを実施する制度を整備した」とあるが、具体的なことは何かあるのか。
パソコンを持ち込んで家で仕事をするという話であれば、少しずれてしまう。就業時間が減ったとか、時間外労働が減ったということであれば、効果としては良いと思うが、これが通常化していくことはどうなのかと思う部分がある。

事務局

- ・ 以前より、講師が資料を作成するなどの業務においてテレワーク（在宅勤務）を実施していたが、コロナ禍ということもあ

り、制度の整備を進められた。

在宅勤務は仕事の切れ目がない形になっていくことがあるため、あくまで本人が望む場合にテレワークを実施している。

明文化したものがまだ出来ていないというお話しであったため、そのあたりを整備していただくようお願いした。

会長

- ・ 在宅勤務によって勤務時間が伸びるとよく言われているが、労務管理をすることは難しい。
本人が希望し、1日の中で働く時間とそれ以外の時間を自分で調整できるような形になると良いと思う。

会長

- ・ 他にはよろしいか。 【意見・質問等なし】

会長

- ・ 本会議としては、「令和3年度 大垣市男と女のががやきまちづくり表彰」の事業者の部の被表彰者として、「株式会社ユニテックキャリアサポート」と「株式会社大垣ケーブルテレビ」を選考することで、よろしいか。

〈 全員了承 〉

- ・ 選考した2事業者については、市長へ報告し、決定されることとなりますので、よろしくお願ひします。

会長

- ・ 議題(2)「大垣市男女共同参画に関する市民意識調査（速報）及び大垣市女性活躍等に関する企業実態調査」について、事務局より説明をお願いする。

事務局

- ・ 資料No.2に基づき、「大垣市男女共同参画に関する市民意識調査（速報）及び大垣市女性活躍等に関する企業実態調査について」を説明（略）

会長

※ 質疑応答をお願いする。

委員

- ・ 企業実態調査のアンケートについて、商工会議所の力不足な部分があり、回答率が非常に悪く、誠に申し訳なかった。
しかし、企業の実態調査は重要だと思うので、また、機会を設け、もう一度実施していただきたい。
その際は、現行のやり方と同じ結果になってしまうため、様々なやり方を検討し、事前準備も行い、進めていけたらと思う。

- 会長
- ・ もう1度機会を設けていただきたいという意見であるが、事務局としてはどうか。
- 事務局
- ・ また、商工会議所の事務局の方と相談しながら、企業の実態を掴めるように進めていきたい。
働く女性の支援という意味では、企業の実態や意向を把握する必要があるので、ご協力いただきたい。
- 会長
- ・ アンケートの結果について、非常に男女の差があると感じているが、感想を含め意見をお願いします。
- 委員
- ・ 「法律や制度上」や「学校教育の場」では、平等感が割とあるという回答だが、それに対して、「社会全体」では、男性が優遇されているという回答が多いという差の部分が、これからコミットしてやっていかなければいけないと感じた。
これから年代別など細かい分析をするということだが、各年代で、それぞれ同じ指標で集計するのか。
- 事務局
- ・ それぞれの設問に対して、性別・年代別で集計する。
- 委員
- ・ 全体を見ると高齢の方の回答が多いため、さらに分析すると結果が変わってくると思われるので大変興味がある。
- 会長
- ・ 年代別に集計すると、違いが見えてくるかも知れないので、年代別の集計をお願いしたい。
- 委員
- ・ 22ページ「問15 配偶者やパートナー、交際相手からの暴力について相談できる場所を知っているか」について、施設を知っていただき、暴力を受けたことを訴えることが難しい状況にあると感じる。
〈 DVの事例を紹介 〉
暴力を受けた方の話をよく聞き、対応していく必要がある。
- 会長
- ・ 加害者の成育歴も含め、DVをしてしまう要因がある中で、加害者への支援という点も含め、貴重な事例の紹介をしていただいた。
DVの対応としては、加害者を咎めたり、被害者を引き離して保護するという形がとられやすいと思うが、加害者を支えていくことも、今後は必要ではないかと感じた。

- 委員
- ・ 市民意識調査については、トレンドをみていくのが大切だと思う。設問項目に関しては、反省込めて変更したくなるかと思うが、同じような内容で引き続き調査をし、どの項目がどのように変化していくのかを見ていくことにも価値があると思うので、そのことも念頭に置いて進めていただきたい。
- 会長
- ・ 同じ設問項目で続けていけば、比較できるという良い点もあるので、検討をお願いしたい。
- 委員
- ・ 今回の市民意識調査は素晴らしいと感じたので、感想として思ったことを伝えたい。
1点目は、12ページの「重いものを運ぶのは、男性の方がよい」の設問に対し、「あまりそう思わない」の回答が約10%もあったことが意外な結果で驚いた。一般的には男性の方が力があるので、個人的には「そう思う」という回答で良いと思う。
また、20ページの「配偶者からの暴力について」は非常に生々しいデータであるが、特に、問14の(2)の「嫌がっているのに性的な行為を強制された」は、男性の方が力があり、立場的に女性が従わざるを得ないという実態があると思う。
男性・女性は、あくまで戸籍などで定義付けされているだけで、最近では身体と心の認識が違ってくる方が増えてきている。
男性・女性の定義が変わってきている一方で、どうしても男性の方が体力があるなど矛盾している部分を、行政としては、どのように折り合わせて、活動の方針に落とし込んでいくのか、改めて難しいと感じた。
2点目は、23ページの「新型コロナウイルス感染症の仕事や生活への影響について」ですが、新聞やニュースなどの表面的な情報を見て、「仕事を辞めて困っている」や「夫と妻と一緒にいる時間が増えたことで、けんかやもめ事も増え、それがDVに繋がっている」などが多いと勝手に思い込んでいた。
しかし、この調査では「特にない」と回答した方が24%もあり、意外とそうでもないと感じた。
自分が新聞やテレビからの表面的なデータや潮流だけを受け止めている可能性があると感じかされ、こういった実態を知ることができた今回の調査は非常に良いと感じた。
- 会長
- ・ 確かに、テレビだとある程度、ストーリーでニュースや報道番組が作られてしまうところがあり、私たちは知らないうちに影響されているところがある。実際は、夫が家にいる時間が多くなったことにより、夫婦の関係が良くなった場合もあるかも

しれない。

男女の見方についても、身体と心の問題については、社会一般の認識もまだ少ないため、これからどう対応していくのかを考えていかなければいけないと思った。

委員

- ・ 今回のアンケートは、対象者数が2,000人、抽出方法は年齢層別無作為抽出とあるが、年代別の抽出人数は均等であるか伺いたい。

事務局

- ・ 人口に合わせて傾斜をつけており、元々のサンプル数は若年層が若干少なく、高齢者の方が回答率が高いため、高齢者の回答が多くなっている。

委員

- ・ アンケートを取る時点で、若年層の方がサンプル数が少なくなるということか。

事務局

- ・ それに関しては、これまでも若年層に重点的にアンケートを取った方が良いのではという意見もあったが、市民全体の意識調査であれば、人口に合わせて抽出すべきであるということで、今回もそのようにした。

委員

- ・ 今後は、年齢層に合わせた抽出や、年齢層によっては質問内容がアンマッチになることもあるかと思うので、そのあたりも精査していただきたい。

会長

- ・ 今後も少子高齢化が進んで人口比が極端に変わっていく中で、それをどのように考えていくかだと思う。全体で見ても、年齢による意識の差が見えなくなってしまうので、今後、年齢別の回答を出していただき、調査の仕方についても、検討していただくようお願いする。

委員

- ・ 今の意見について、どういった方が回答をしたかが重要だと思った。

例えば、23ページの「新型コロナウイルス感染症の仕事や生活への影響について」は、仕事をしている方もしていない方も全員をまとめた回答になっているため、仕事をしている方の中で、仕事をする時間が減ったか、増えたかの分析をする必要があると思った。

また、19ページの育児休業を「取得しない方がよい」、「どちらかといえば取得しないほうがよい」の理由で、「母親が取得

すればよく、父親が取得する必要はない」という項目は、私は男性の回答が多いと思っていたが、女性の方が回答数が多かった。

ただ、この回答をしたのがどの年齢層の女性なのか、子どもがいる方なのか、いない方なのかを見ていくと、どういった方がそのような意見をもっているのかが明らかになってくると思う。

いろいろな属性ごとに回答を見ていくと、どのような方がどのような回答をしているのか、今後、分かってくると思った。

15ページの(9)で「子どもは、性別にこだわらず、個性を伸ばすように育てるのがよい」は、ほとんどの人が「そう思う」と回答しているが、この項目は「そう思わない」と答えにくい聞かれ方だと思った。

社会的望ましさがあり、「そう思わない」と答えるより「そう思う」との意見になりやすいが、実際はどうなのかというように、反対意見が出しにくい項目内容であると思った。

会長

- ・ 分析の仕方については、今後、工夫をお願いしたい。

委員

- ・ 20ページの「配偶者等からの暴力について」は、男性と女性で感じ方に違いがあると思った。

問14の(2)で「嫌がっているのに性的な行為を強要された」の「何度もあった」の回答は、女性は6.2%に対して、男性は0%であり、男女間の意識の差を感じた。

21ページの問14の(1)の「その行為を受けたことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしたか」については、男性は何かあったとしても、相談しにくいという点に問題があると思った。

今後は、同じ事柄に対する意識の違いにも注目して、対策をしていただきたいと思います。

先ほど皆さんが言われたように、現在は、大垣市全体の調査結果であるが、性別・年代によって感じ方に違いがあり、項目によっては、年代により改善している部分もあると思うので、詳細な分析結果を待ちたいと思う。

会長

- ・ 委員の皆様からの様々な意見や感想について、今後の調査の分析等に役立てていただきたい。

- ・ 他にはよろしいか。 【意見・質問等なし】

- 委員の皆様が現任期での会議は本日が最後となるため、大垣市男女共同参画推進審議会の委員として関わってきた中での感想等を一言ずつお願いします。

〈 委員全員が順番に話す 〉

- これで議事を終了し、議長の職を降りさせていただく。

事務局

- 石田市長が、料理により男性の家事を応援する内閣府キャンペーンの「おとう飯」サポーターとなるにあたり、料理にチャレンジした動画を紹介する。

〈 動画を視聴 〉

事務局

- 本日の配布物について説明
 - 男女共同参画フォーラムについて
 - 女性のためのキャリア相談について
- この件について、意見・質問等の確認 【意見・質問等なし】

事務局

- 長時間にわたる審議ありがとうございました。
- 以上で、令和3年度第2回「大垣市男女共同参画推進審議会」を閉会させていただく。

(閉会 午後3時30分)

以上、会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するため、ここに署名する。

委 員

委 員